

特集 みんなで育てて味わおう！稲づくり農業体験

多くの人に「農業の楽しさを知ってほしい」「自分で育てた農作物の美味しさを知ってほしい」という思いから、毎年、「稲づくり農業体験」を行っています。

この体験では田植えから草刈り、稲刈り等の一連の稲づくり作業を体験し、収穫後は自分の手で育てた特別なお米を味わうことができます。

今回は、農業の魅力や「稲づくり農業体験」の体験者や講師の声とともにお伝えします。

農業体験に興味を持った人は、今年ぜひ参加してください（詳しくは、4ページをご覧ください）。



7月

田んぼを荒らす ジャンボタニシを駆除

稲を食べてしまう外来種ジャンボタニシを捕獲する簡単な仕組みのトラップを手作りして大切な稲を守ります。

トラップを設置したあとは、田んぼに生えている雑草を取り、秋の収穫に向けて準備。

6月

田植え体験からスタート



慣れない泥と長時間腰をかがめての作業は大変ですが、参加者みんなで協力し、一本一本を手作業で植えます。

田植えを終えた後は、大人も子どもも泥がいっぱい付いた顔に充実感をにじませています。



体験者に聞く



西 愛結奈さん

「稲づくり農業体験」に参加するのは、2回目でした。前回、広報紙を見て応募し実際に体験してみると、とても楽しかったので参加することにしました。

田植えの時は腰を曲げながら苗を植えるので腰が痛くなったり、稲刈りでは稲を持って鎌で刈るときに手と腕が痛くなったりして大変でした。でも、自分たちで田植えをし、手入れた稲がどんどん育っていくのを見るのは、すごく楽しくて達成感もありました。田植えや稲刈りの時には苦労したけど、大変だった分、自分で育てたお米はとても美味しかったです。

最後の試食会では、土鍋でお米を炊くのも楽しかったし、いわくらTKG（卵かけごはん）にして食べるのも美味しかったです。いつもはおかずの方が好きでご飯はあまり食べないけど、4杯も食べちゃいました。

本当に全部楽しかったので、また農業のイベントがあれば参加してみたいです。

できたお米を 食べてみよう

令和4年度は「稲づくり農業体験」の締めくくりとして、みんなで育て収穫したお米の試食会を行いました。

料理研究家の桜井さちえさんのご指導のもと、まずは、土鍋で炊いた白米を堪能しました。その後、岩倉市名古屋コーチン振興組合と石塚硝子（株）からそれぞれ提供された「名古屋コーチンの卵」と「てびねり片口豆鉢」を使ったいわくらTKG（卵かけごはん）も味わい、自然と笑顔に。



この間は、講師に田んぼの管理をしてもらい、大切な稲を育てます。

JA 愛知北 岩倉ライスセンター



岩倉ライスセンターは、主に岩倉地区で育った稲を安心して美味しいお米に乾燥調製するための施設です。

より安全・安心なお米にするため、フルカラーカメラ、近赤外線カメラで着色粒や異物等を除去する「色彩選別機」や遠赤外線の効果でより効率的に乾燥をすることができる「遠赤外線乾燥機」、愛知県で初となる生産者ごとに乾燥を行える「ラック乾燥システム」を導入しています。



▲色彩選別機



▲遠赤外線乾燥機

11月

みんなで育てた稲を収穫♪

自分たちで大切に育てた稲の収穫ということもあり、みんなの張り切り具合が伝わってきます。

稲の収穫は、手刈りと同時にコンバインなどの農業機械を使用するので、稲を手で刈る大変さと農業機械の便利さを実感できます。



講師に聞く

私が講師として携わるようになって2年ですが、毎回「稲づくり農業体験」には多くの人が参加してくれます。今まで農業に関わりがなかった人に興味を持ってもらえることは市内の農業者としても、とても嬉しいことです。

この「稲づくり農業体験」では、一年を通して稲の成長を見ることができ、農業の大変さだけではなく、楽しさについても感じてもらうことができます。参加してくれる人たちは、楽しそうに田植えや稲刈りに取り組んでくれます。特に子どもたちが苦勞しながらも一生懸命に作業して、できたときの笑顔を見るとやっぱり嬉しいですね。

こちらのやりがいにもなるので、いろんな人にこれからも参加してもらいたいです。少しでも農業に興味がある人はぜひ参加してみてください。まずは、「稲づくり農業体験」に参加してもらい、より興味を持ってもらえたら、農業体験塾などの他の農業体験もあるので、そちらにも参加してみたいです。



石黒 賢充さん

稲づくり農業体験で「あいちのかわり」を栽培してみませんか

問合先 商工農政課農政グループ(☎ 38-5812)

田植えから稲刈り(収穫)までを農業者の指導により参加者全員で一緒に行います。

また、収穫したお米は、参加家族で分配します。

- 募集期間 4月10日(月)～21日(金)に電話または窓口でお申し込みください。
- 募集家族数 15組程度※申込状況によっては、抽選を行う場合があります。
- 参加費 3,000円(1家族)※1回目の参加時に集金します。
- ところ 東町白山252



●作業予定

6月11日(日)	田植え
7月中旬	草取り
8月上旬	ヒエ刈り
10月下旬	稲刈り

※上記のほか、稲を食べてしまうジャンボタニシを捕まえるトラップづくりなどのイベントも夏頃に予定しています。

なお、天候や生育状況により作業の予定は変更されることがあります。

こちらもおススメです

農業体験塾生を随時募集しています

市内農業者の指導を受け、塾生同士が協力しあいながら、環境に配慮した手法で野菜を栽培する体験をしています。栽培した野菜は、収穫したその日のうちに塾生で分け合いお持ち帰りいただくため、新鮮なおいしい野菜をご自宅で味わうことができます。入塾の受付は随時行っています(定員はありません)。

- とき 原則、毎週日曜日の午前中に農作業を行います。
- 参加料 苗、肥料代などは集金します(年間6,000円程度)。また、鍬や鎌などの農具は、各自用意してください。
- 農地の場所 川井町寺山11(消防署の南西)

私たちと一緒に農業体験しませんか!?



講師 櫻井和義さん



塾長 佐賀和昭さん



塾生 林有香さん



問合先 商工農政課農政グループ(☎ 38-5812)